



# 第1章 飛騨高山匠の技遺産



Contents 1 両面宿儺（りょうめんすくな）



Digital archive  
詳しい情報はこちら

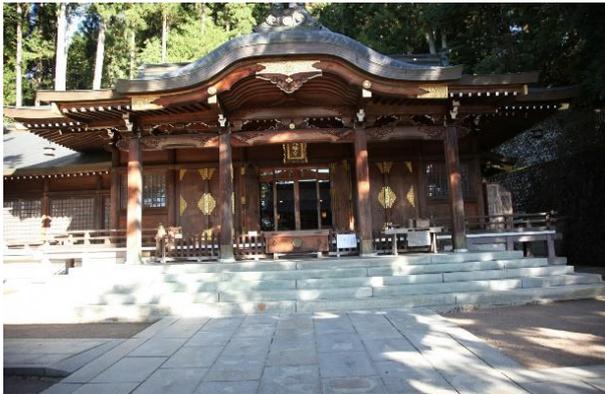


両面宿儺は高山市丹生川町が出生の地と伝わり、丹生川町の千光寺や出羽が平（現在の飛騨大鍾乳洞近辺）、日面の善久寺、武儀の日龍峰寺などに伝承がある。

Directions  
場所と行き方

場所／飛騨千光寺：高山市丹生川町下保 1553  
交通／高山駅から車で約 24 分

Contents 2 桜山八幡宮（さくらやまはちまんぐう）



Digital archive  
詳しい情報はこちら



祭神は、応神(おうじん)天皇・熱田(あつたの)大神、香椎(かしいの)大神である。飛騨の両面宿儺を攻めた難波根子武振熊命は、飛騨への侵攻にあたって道沿いに八幡社を祀って戦勝祈願をした。

Directions  
場所と行き方

場所／飛騨千光寺：高山市桜町 178  
交通／高山駅から車で 7 分

Contents 3 月ヶ瀬 飛騨の匠碑 (つきがせ ひだのたくみひ)



Digital archive

詳しい情報はこちら



飛騨市河合町には、止利仏師の生誕地としての伝承が長い年月にわたって伝えられてきた。それを実証する確かな史料は残っていないが口伝えにより、河合町の月ヶ瀬には飛騨匠の碑が建っている。

Directions  
場所と行き方

場所／飛騨市河合町月ヶ瀬  
交通／高山駅から車で54分

Contents 4 飛鳥大仏 (あすかだいぶつ)



Digital archive

詳しい情報はこちら



重要文化財1940年指定、名称「銅造釈迦如来坐像(本堂安置)1軀」、像高は275.2cm『日本書紀』や『元興寺縁起』に見える「鞍作鳥(止利仏師)」作の本尊像で、後世の補修がある。

Directions  
場所と行き方

場所／奈良県高市郡明日香村飛鳥682  
交通／橿原神宮寺前駅から車で約10分

## Contents 5 法隆寺 (ほうりゅうじ)



Digital archive  
詳しい情報はこちら



607年、聖徳太子こと厩戸皇子（用明天皇の皇子）が父・用明天皇のために創建した。聖徳太子は推古9年（601年）、「斑鳩宮」の建造に着手、推古13年（605年）に斑鳩宮に移り住んだ。

Directions  
場所と行き方

場所／奈良県生駒郡斑鳩町法隆寺山内1-1  
交通／王寺駅から車で約15分

## Contents 6 寿楽寺 (じゅらくじ)



Digital archive  
詳しい情報はこちら



寿楽寺跡地は道路改良に伴い、岐阜県教育文化財団が平成10～12・15年度の4次にわたり発掘。結果、講堂基壇跡と回廊遺構が発見された。礎石建物跡、竪穴建物群も確認している。

Directions  
場所と行き方

場所／飛騨千光寺：高山市古川町太江2872  
交通／高山駅から車で約30分

## Contents 7 飛驒町 (ひだちょう)



Digital archive  
詳しい情報はこちら



昭和 31 年の橿原市発足により飛驒町となった。上飛驒町の区域は、東西約 450m、南北約 560m である。飛驒町は上飛驒町の西側に隣接、東西約 260m、南北約 460m である。

Directions  
場所と行き方

場所／奈良県橿原市飛驒町

交通／橿原神宮前駅から車で約 7 分

## Contents 8 平城京 (へいじょうきょう)



Digital archive  
詳しい情報はこちら



平城京は朱雀大路をはさんで西側を右京、東側を左京という。条坊地割りによって区画された。朱雀大路の南端には羅城門、北端には朱雀門があり、朱雀門より中は 1 km 四方の平城宮となる。

Directions  
場所と行き方

場所／奈良県奈良市二条大路 3 丁目 3-30

交通／奈良駅から車で約 17 分

Contents 9 唐招提寺 講堂（とうしょうだいじ こうどう）



Digital archive  
詳しい情報はこちら

この講堂は、平城宮の東朝集殿（儀式に出席する臣下の控え室）であったものを平城宮改修の際に下賜され、天平宝字4年（760年）頃に唐招提寺へ移築したものである。平城宮の唯一現存する宮廷建築として貴重である。



Directions  
場所と行き方

場所／奈良県奈良市五条町 13-46

交通／尼ヶ辻駅から車で6分

Contents 10 朱雀門（すざくもん）



Digital archive  
詳しい情報はこちら

朱雀門の左右には高さ6mの築地塀がめぐり、約1km四方の広さ、130haの広さの宮城をもつ平城宮を取り囲んでいた。柱と柱の間の中心間距離がいずれも17尺（約5m）で正面5間（約25m）の規模をもつ。



Directions  
場所と行き方

場所／奈良県奈良市二条大路南3丁目 3-30

交通／奈良駅から車で約17分

## Contents 11 大極殿 (だいくでん)



Digital archive  
詳しい情報はこちら



明德元年(1390)に創建され、元中7年(1390)に再建されている。三間社流造り、柿葺で、素木造り。本殿と棟札7枚が国の文化財に指定されている。本殿は、明德元年(1390)再建されたと伝えられている。

Directions  
場所と行き方

場所／高山市国府町宮地1405-1  
交通／高山駅から車で約26分

## Contents 12 西隆寺 (さいりゅうじ)



Digital archive  
詳しい情報はこちら



西隆寺は、奈良時代に平城京に造営された尼寺。称徳天皇の発願によって神護景雲元年(766年)に造寺司(造西隆寺司)が設置され、西大寺そばの右京一条二坊の地4町に建立された。

Directions  
場所と行き方

場所／奈良県奈良市西大寺東町2丁目1  
交通／大和西大寺駅から車で約3分

## Contents 13 西大寺（さいだいじ）



Digital archive  
詳しい情報はこちら



西大寺は、奈良時代天平神護元年（765）に創建された。官大寺を総称する「南都七大寺」の1つに数えられ、2015年に創建1250年を迎えた。承和13年（846）以後数多の火災にあい、創建当時の建物はほとんど焼失した。

Directions  
場所と行き方

場所／〒631-0825 奈良県奈良市西大寺芝町  
交通／大和西大寺駅から車で約3分

## Contents 14 飛騨国分寺（ひだこくぶんじ）



Digital archive  
詳しい情報はこちら



現在の国分寺境内地は奈良時代の国分寺があった場所で、現境内地は東西70、南北92㍍、民地が入り組んでいて創建当時の寺域より、かなり狭まっています。室町時代の国分寺本堂が建っている。

Directions  
場所と行き方

場所／高山市総和町1丁目94  
交通／高山駅から車で約3分

## Contents 15 飛騨国分尼寺 (ひだこくぶんにじ)



Digital archive  
詳しい情報はこちら



奈良時代から 10 世紀後半頃まで飛騨国分尼寺が建てられていた場所。昭和 63 年、辻ヶ森三社の社殿改築を機に発掘調査が実施され、飛騨国分尼寺金堂跡が発見された。

Directions  
場所と行き方

場所／国分尼寺史跡広場：高山市岡本町2丁目130  
交通／高山駅から車で約5分

## Contents 16 飛騨支路 (ひだしろ)



Digital archive  
詳しい情報はこちら



東山道は東へ進んでゆくが、美濃の方県付近で本道と分かれて「飛騨支路」となり、関～金山～下呂と北へ進んで現在の高山市へと続いた。飛騨匠もこの道を通っていた。上京 15 日程、帰りは 8 日程であった。

Directions  
場所と行き方

場所／高山市一之宮町  
交通／高山駅から車で約 27 分

Contents 17 飛騨一宮水無神社（ひだいちのみやみなしじんじゃ）



Digital archive  
詳しい情報はこちら

飛騨一円を崇敬者とし、除夜祭・歳旦祭は県内外からの参拝者が多い。例祭は5月2日。創立年代は不詳、祭神は水無大神など、位山を「神体山」としている。



Directions  
場所と行き方

場所／高山市一之宮町 5323

交通／高山一ノ宮駅から車で約5分

Contents 18 阿多由太神社（あたゆたしんじゃ）



Digital archive  
詳しい情報はこちら

技法が極めて優れた建物である。延喜式や三代実録に記載された古い社で、木曾垣内・三日町・半田の一部の産土神として、江戸時代にはこの地方の総社として広く崇敬されてきた



Directions  
場所と行き方

場所／高山市国府町木曾垣内 1023

交通／飛騨国府駅から車で6分

Contents 19 小萱の薬師堂（こかやのやくしどう）



Digital archive  
詳しい情報はこちら

中世北飛騨の領主江馬氏の菩提寺だった瑞岸寺の飛び地仏堂。古くから養蚕の守り本尊として広く信仰され、寝雑薬師と呼ばれる奇祭が毎年行なわれ、多くの信者が参拝に訪れていた。



Directions  
場所と行き方

場所／瑞岸寺安楽院薬師堂：飛騨市神岡町小萱 151  
交通／高山駅から車で約 51 分

Contents 20 荒城神社（あらかじんじゃ）



Digital archive  
詳しい情報はこちら

明德元年（1390）に創建され、元中 7 年（1390）に再建されている。三間社流造り、柿葺で、素木造り。本殿と棟札 7 枚が国の文化財に指定されている。本殿は、明德元年（1390）再建されたと伝えられている。



Directions  
場所と行き方

場所／高山市国府町宮地 1405-1  
交通／高山駅から車で約 26 分

Contents 21 安国寺経蔵（あんこくじきょうぞう）



Digital archive  
詳しい情報はこちら



飛騨地方で唯一の国宝建築。経蔵の建立は、天井裏にある輪蔵心柱の上端を受ける横木の墨書により応永15年と判明していて、内部の八角輪蔵に寺像が中国に渡航して請来した元版大蔵経（一切経）が納められている。

Directions  
場所と行き方

場所／太平山安国寺：高山市国府町西門前474  
交通／高山駅から車で約27分

Contents 22 熊野神社（くまのじんじゃ）



Digital archive  
詳しい情報はこちら



一間社流れ見世棚造で柿葺（こけらぶき）、桁行1.827m、梁間1.073m、昭和54年、重要文化財に指定されている。飛騨地方の神社建築の流れを知る上にも重要である。

Directions  
場所と行き方

場所／高山市国府町西門前521  
交通／高山駅から車で約27分

## Contents 23 飛騨匠神社 (ひだたくみじんじゃ)



Digital archive  
詳しい情報はこちら



現在の建物は高山建築組合により、新社殿として昭和36年に新築されている。当初は飛騨国分寺境内に歴代口匠諸霊を併せて祭祀と供養がなされていて、この堂宇を「木鶴堂」と呼び「木鶴大明神」を祀っていた。

Directions  
場所と行き方

場所／飛騨護国神社：高山市堀端町90

交通／高山から車で7分

## Contents 24 千鳥格子御堂 (ちどりごうしおどう)



Digital archive  
詳しい情報はこちら



この格子戸は檜の角棒を互い違いに組んでいるが、どこでどのように組み合わせたものか、外見では全くわからない立派な細工で、千鳥格子と呼ばれてきた。

Directions  
場所と行き方

場所／高山市荘川町六郎

交通／高山駅から車で約59分

Contents 25 高山陣屋 (たかやまじんや)



Digital archive  
詳しい情報はこちら



明治維新に至るまでの177年、領地の行政・財政・警察などの政務を行なう「御役所」が「高山陣屋」と称された。明治になると、主要建物はそのまま地方官庁として使用され、昭和4年には国の史跡に指定された。

Directions  
場所と行き方

場所／高山市八軒町1丁目5  
交通／高山駅から車で約4分

Contents 26 春の高山祭 山王祭 (さんのうまつり)



Digital archive  
詳しい情報はこちら



日枝神社 (高山市城山) を中心に祭礼が毎年4月14、15日に執行される。今から約400年前に始まった。春祭には、能を外題(げだい)とした三つの「カラクリ」が奉納される。

Directions  
場所と行き方

場所／高山市城山、日枝神社氏子区域  
交通／高山駅から車で約7分

Contents 27 秋の高山祭 八幡祭（はちまんまつり）



Digital archive  
詳しい情報はこちら



桜山八幡宮を中心に祭礼が毎年10月9、10日に執行される。およそ400年前から始まった。江戸時代、例祭には金森国主より奉行正副2名が特派され、奉行祭の祭式は、飛騨が幕府の直轄となってからも続けられている。

Directions  
場所と行き方

場所／高山市桜町、桜山八幡宮氏子区域  
交通／高山駅から車で約7分

Contents 28 飛騨春慶塗（ひだしゅんけいぬり）



Digital archive  
詳しい情報はこちら



木地は板物と、轆轤による挽物に分けられるが、飛騨春慶塗は板物の加工技術に特徴が見られ、「角物」と「曲物」がある。木肌の美しさを醸し出す木地師と、木肌の美しさを引き出す塗師の二者一体の共同芸術で成り立っている。

Directions  
場所と行き方

場所／高山市内  
交通／高山駅から車で約3分

Contents 29 一位一刀彫（いちいっとうぼり）



Digital archive  
詳しい情報はこちら

江黒亮春は刀法を考え、彩色を施さずに飛騨の名木一位の天然の美しさを生かした簡潔な彫痕を残す一刀彫の様式を考案したとされている。

Directions  
場所と行き方

場所／高山市内  
交通／高山駅から車で約3分



Contents 30 高山市三町伝統的建造物群保存地区



Digital archive  
詳しい情報はこちら

平成9年に国の重要伝統的建造物群保存地区に選定された。地区の面積は約4.4haで、南北通りは約420m、東西の幅は約150m。伝統的な建造物が172棟あり、秋葉様社が2棟ある。

Directions  
場所と行き方

場所／高山市上一之町、上二之町、上三之町他  
交通／高山駅から車で約8分



Contents 31 高山市下二之町・大新町伝統的建造物群保存地区



Digital archive  
詳しい情報はこちら

平成16年7月6日、約6.6haが国の重要伝統的建造物群保存地区に選定された。伝統的建造物200棟、その他の工作物12件、環境物件が8件ある。



Directions  
場所と行き方

場所／高山市下一之町、下二之町、下三之町  
交通／高山駅から車で7分

Contents 32 吉島家・日下部家住宅（よしじまけ・くさかべけじゅうたく）



Digital archive  
詳しい情報はこちら

吉島家：主屋、倉は明治40年（1907）に建てられ、国の文化財に指定された。日下部家：昭和41年、主屋、文庫倉、新倉の3棟が国指定の重要文化財になった。

Directions  
場所と行き方

場所／吉島家：高山市大新町1丁目51  
日下部民藝館：高山市大新町1丁目52  
交通／高山駅から車で約24分



Contents 33 飛騨木工家具（ひだもっこうかぐ）



Digital archive  
詳しい情報はこちら

飛騨における洋家具発祥の歴史は、大正9年に取り組んだ家具作りが源である。当時未活用材であったブナ材の活用を考え、多くの困難を乗り越えて飛騨を一大家具産地に発展させた歴史がある。



Directions  
場所と行き方

場所／高山市内  
交通／高山駅から車で3分

資料1 デジタルサイネージへの展開

飛騨高山匠の技ものがたり(日・英)



飛騨高山匠の技デジタルアーカイブの約8万点の地域情報から新たに映像のデジタルコンテンツを作成し、中部国際空港にデジタルサイネージを設置し放映している。左のQRコードで、その映像を見ることができます。

飛騨高山の匠の技とところ(日・英)



飛騨高山の技とまつり(日・英)

